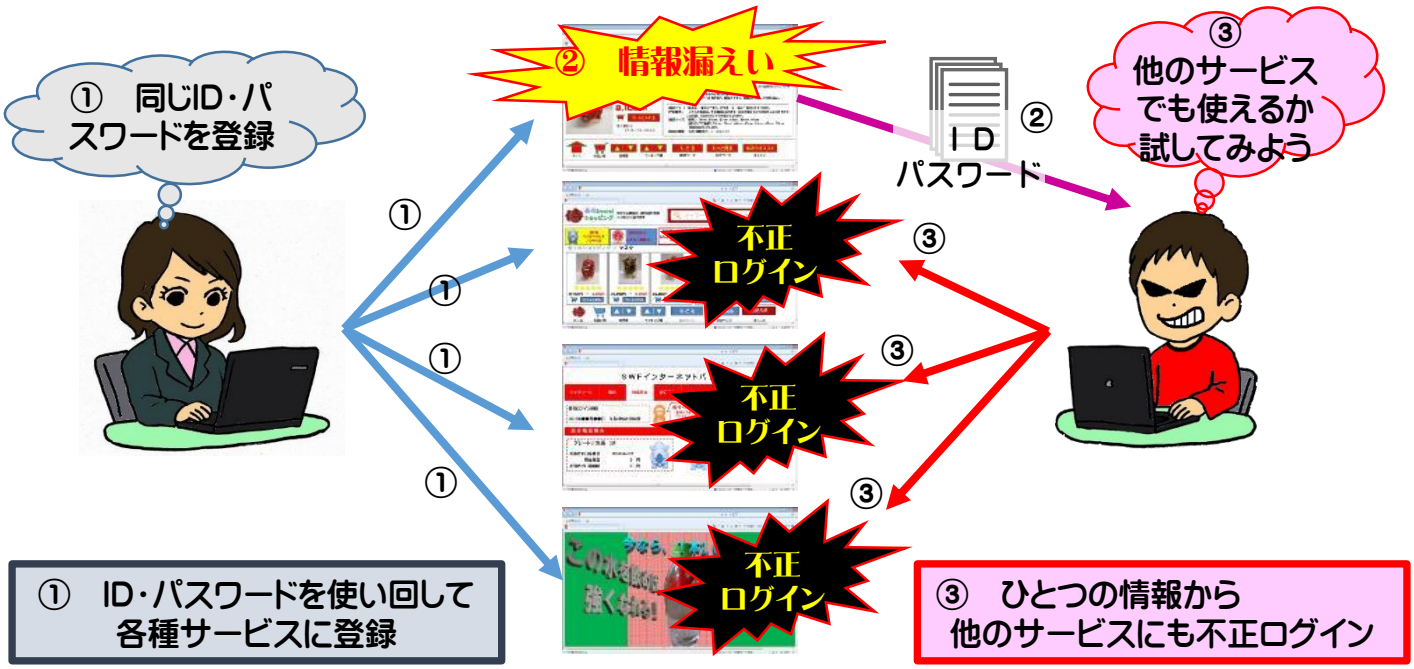
ID・パスワードの使い回しに注意

ここではパスワードの使い回しの危険性について説明をします。
ID・パスワードを使い回していると、リスト型攻撃により、複数のサービスで被害に遭うことがあります。

リスト型攻撃って？

インターネット上のサービスに登録しているID・パスワードが何らかの理由で漏えいしてしまい、攻撃者（悪意のある者）が、それを入手した後、そのID・パスワードを利用して、様々なインターネット上のサービスにログインを試みる攻撃手法です。

被害に遭わないよう気を付けることは？

被害に遭わないために、以下の点を参考にしてください。

- ID・パスワードはできる限りサービスごとに異なるものを使用する。
- 複数のID・パスワードを適切に管理するため、自分なりのパスワードのルールを作ったり、パスワード管理ツールやアプリを利用する。
- 紙のメモにIDとパスワードを書いておく。
  このとき、紙のメモは紛失しないように管理し、また、仮に紛失しても、ID・パスワードの一部だけを記載するなど、自分以外は分からないようにしましょう。
- ログイン時の二段階認証やワンタイムパスワードがあるサービスでは、それらの機能を利用するなど、第三者からのログインがあったとき、早急に気付ける対策をとる。